

1

勝呂遺跡
22区

調査区

坂戸市大字石井字勝呂

調査期間

平成20年5月19日～7月16日

調査原因

宅地造成工事

確認された遺構と年代

住居址—14軒（古墳時代初頭～平安時代）
掘立柱建物址—3棟（奈良・平安時代）



1. 勝呂遺跡22区

勝呂遺跡は、坂戸市の中央部北側に位置しています。また、調査区のすぐ西側には7世紀後半頃に創建された勝呂廃寺すてら へいじがあります。

古墳時代初頭の住居址の中には、焼けた土や炭化物が多く含まれ、焼失したと考え

られます。

他の住居址は7世紀末から8世紀初頭のものも多く、勝呂廃寺の創建と密接な関係があったと考えられます。

住居址からは、土師器はじなどが多く出土しました。



古墳時代初頭の住居址



土器出土状況



奈良時代の住居址



土師器環出土状況

2

中道北遺跡
2区なかみちらきた
いせき

調査区

坂戸市大字北大塚字石原

調査期間

平成21年1月8日～2月4日

調査原因

宅地造成工事

確認された遺構と年代

住居址-1軒(奈良・平安時代)

土坑-9基(奈良・平安時代)



2. 中道北遺跡2区

中道北遺跡は、低湿地の中にある遺跡で近くには葛川が流れています。

今回の調査では、住居址や土坑の他に調査区全体から、土師器や須恵器が3千点以上出土しました。

中には、勾玉や須恵器の小型壺・コップ形土器、刀子(小型のナイフ)なども発見されました。



須恵器出土状況

3

上谷遺跡
9区かみ
やいせき

調査区

坂戸市大字中小坂字西谷ツ

調査期間

平成21年2月2日～2月19日

調査原因

個人住宅建設

確認された遺構と年代

住居址-1軒(縄文時代前期)

-1軒(古墳時代後期)

土坑群(時期不明)



3. 上谷遺跡9区

上谷遺跡は、坂戸市の南東側に位置し、台地上には縄文時代から平安時代にかけての集落が広がっています。

調査で確認された住居址からは、縄文土器や完形の土師器杯や甕などが発見されました。特に、鮮やかな赤色に塗られた土師器は、この地域の特徴です。

また、土坑群は土器を作るために粘土を採掘した跡の可能性が考えられます。



住居址から出土した土師器